

2 リモートセンシングの研究

メンバー

電子情報科 3年

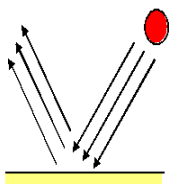
江藤 あかね 喜多 捺美 南出 つばさ
瀧本 峻介 野田 侃

研究の目的

衛星画像や航空写真から海面温度や植生調査などを行い自分たちの取り巻く環境の変化と問題点および解決方法を学習する。
また、自分たちを取り巻く環境に対する興味関心を高める。

研究内容

リモートセンシングとは



「航空機や人工衛星など地表から離れたところから、光や電磁波などを利用して地球の表面や内部の現象を調べる技術」

PG-STEAMERによるファイル処理と解析

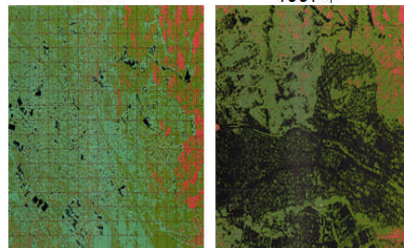


緑被率の求め方

$$\text{緑被率} = \frac{\text{緑・水色・赤・黒の面積}}{\text{全体の面積}} \times 100 \text{ [\%]}$$

鈴見・杜の里(山側環状) 面積 346.5km²

1973年 1997年

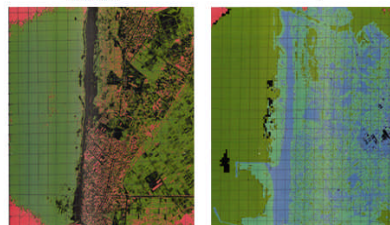


緑被率 91%

58%

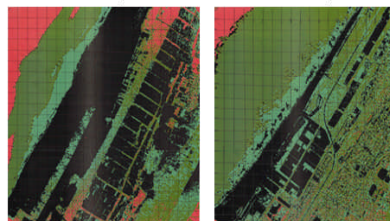
金石 面積450km²

1952年 1997年



内灘海岸 面積 400km²

1962年 2007年

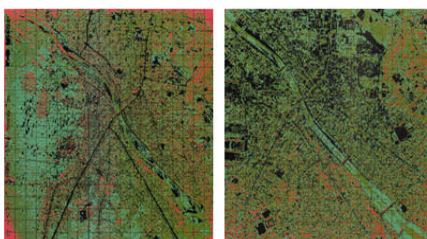


緑被率 58%

74%

金沢市中心部 面積396.01km²

1946年 2007年



緑被率 73.5%

74.4%

感想

- ・最初はリモートセンシングについて分からなく困ったが、今では分かるようになって良かったです。(瀧本)
- ・班で一つのことを成し遂げることができ、達成感を得られて良かったです。(野田)
- ・電子情報科でも初めてこの研究に取り組んだので、資料も何もない状況からのスタートだったけど、これからの地球の環境にとっても重要な技術を学べて良かったです。(江藤)
- ・リモートセンシングという言葉の響きはとても難しそうだったけど、学習していくうちに私たちの身近な問題なんだと思いました。(喜多)
- ・リモートセンシングをもっと世界中に広めることができたいと思います。(南出)